

梨の栽培面積が県内最大の白井市で、収穫時の梨農家の負担を軽減するため、市シルバー人材センターが市内の農家と協力して「梨収穫ふくら」を制作した。首や肩から袋をさげると梨の重みで腰への負担が大き

# 白井

いが、この袋はカンガルーのように腰に固定することで、多く抱えても負担を感じにくい作りになっている。市内の梨農家からの個人的な依頼で作ったものの、来年の収穫時期までに一般販売する。

## 農家高齢化、収穫の負担軽減

# 梨袋 腰に着ければ不安ナシ



袋を制作した三井さん(中央)ら白井市シルバー人材センター手工芸班の女性たち(同センター)

## 「必需品」と好評、一般販売へ



端に空いた穴に指を入れ梨を運ぶ際の取っ手にできる

普段は洋服の直しなどを行っている同センター手工芸班の女性約10人が制作した。梨を抱えて運ぶ際の取っ手として使える穴を付けたリ、タックを付けて容量を増やしなが梨がこぼれ落ちにくしたりと工夫をこらしている。制作を依頼した農家からは「収穫の必需品」と好評だという。

制作を主導した三井

1717。

千秋さん(72)は「梨農家は高齢化して腰が悪い人が多いが、この袋を使えば負担を減らして楽に収穫できる。梨のまち白井から全国に広めたい」と語った。他の果物でも応用できるといい、キウイ用の袋も11月の収穫時期に向け制作している。

価格は2000円。問い合わせは同センター

1047(498)

047(498)

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。

1717。